

破天荒

教宣部

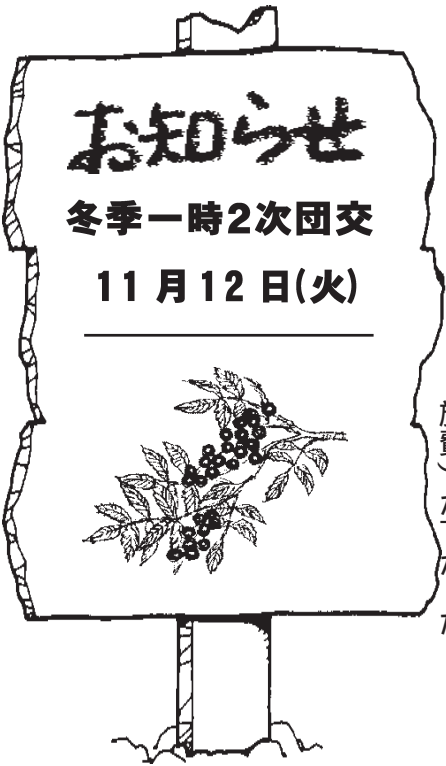
5076号

2019年
11月 6日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

2019年 冬季一時金

2.87ヵ月



五日は冬季一時金回答指定日でした。回答は二・八七ヵ月でしたが回答理由の中に、私たち従業員的生活という言葉はありませんでした。

三社の業績

三社とも増収増益でした。中でも一時金対象期間でオプトは過去最高の増収増益を達成しました。

電子の売上は前年同期比微増で、経費(中でも出張旅費)が下がった結果、利益が上がった。

システムの売上も微増だが、検査機が順調で高付加価値商品が売れた。

オプトは消費税増税の駆け込み需要で高付加価値商品が売れ、経費(中でも出張旅費)が下がった。

計算月数

会社は「約束したものである」として一人当たり経常利益から計算した各社単独の月数は、

- 三社 二・八七ヵ月
- 電子 二・七八ヵ月
- システム 二・九九ヵ月



オプト 二・九九ヵ月
：でした。

労使慣行

たとえ約束していなくても二十年以上、対象期間の経常利益と人員と回答月数に相関係数があれば、労使慣行と見られることもできません。計算式は前労務担当だった吉田顧問が会社代表として言い始めたことです。

組合はあくまで生活でき

■非組合員の皆さんは、どのようにお考えか

た管理職

- ・長い年月と膨大なコストを掛けても未だに本稼働しない新基幹システム。
- ・膨れあがる在庫金額。
- ・結局、誰も責任を取らない納期遅延問題。
- ・売上げや成長に直結しない、よく分からない業務や会議、手続きの数々。
- ・残念ながらスケジューリングのことがアタマにない管理職。

みなさん、なんだかおかしいとは思いませんか？数年後に会社を畳む気です、と言われてもおかしくない状況。正社員が減り、部門間の人員バランスが崩れてきています。「決定事項です」の言葉と共に突然の人事発令で希望しない異動を余儀なくされることが今後増えると思っています。

が無いということ。社員の生活に直結する大事なことを今のまま少数組合員に任せるので良いのですか、もはや経営者と組合の問題ではないはず。非組合員の方々も一緒に考えていかないと明るい未来はありません。本当に困ってからは遅いですよ

ふれあい健康ハイキング

十一月二日(土) 城陽市「友愛の丘」で地本主催のハイキングが開催され一〇〇名位の参加者でした。ハイキング後の集合場所では、各支部担当の料理(焼きそば・焼き肉等)が振舞われビール片手に楽しい時を過ごしました。

全竹中は、組合数の多い時「トン汁」を作り好評でしたが、手間と人数が掛かりここ数年はお休み。来年は一人でも多くの方が参加され他支部との交流を深めてほしいと思っています。

